

研修プログラム

1

特許・実用新案入門

～特許出願から取得まで

10/17(水)

1. 知的財産権とは
2. 知的財産権の内容
3. 知的創造サイクルについて
4. 特許を取得するための方法
5. 特許を取得するための要件 [実例紹介]
 - 発明とは
 - 産業上利用可能性
 - 新規性
 - 進歩性
 - 先出願
 - 公序良俗
6. 公報の効果的な読み方
7. 特許取得に係る費用
8. 中小企業・ベンチャー企業のための減免制度
9. 特許を早期に取得するための方法
 - 【早期審査制度】
10. 特殊な出願
 - 国内優先権主張出願
 - 分割出願
 - 変更出願
11. ビジネスモデル特許について
12. 実用新案について
 - 特許と実用新案の比較
 - 実用新案改正法の概要
 - 実用新案を選択するケース
13. 特許出願の前段階における留意点
 - 発明者・開発者の留意点
 - 知的担当者の留意点

2

特許・実用新案入門

～これからの企業の特許戦略～

10/18(木)

1. 経営戦略上の特許情報の有効活用
 - 特許情報とは
 - 特許情報の取得方法
 - 特許情報をどのように活用するか
 - 研究テーマの設定
 - 欲しい技術の発見
 - 自社発明の特許性判断
 - 他社および業界の技術動向の把握
 - 技術ライセンス、M&A
 - 他社特許の無効性判断
 - パテントマップ (特許マップ) のすすめ
2. 特許ライセンス
 - 特許権の利用形態
 - ライセンスの対価
 - 実施料率の実例
 - ライセンス契約フロー
3. 特許権・実用新案権の侵害
 - 侵害者に対する法的措置
 - 特許訴訟の件数の推移
 - 特許訴訟の損害賠償額の推移
 - 特許訴訟の実例
 - 他社から特許権侵害を受けた場合の対応
 - 補償金請求権について
4. 職務発明について
 - 職務発明とは
 - 職務発明訴訟の実例
 - 職務発明規定の必要性
5. 開発技術の秘密管理と先使用权
 - 開発技術の特許取得または秘密管理の選択
 - 開発技術をノウハウとして秘密管理する場合の観点
 - 営業秘密を保護する不正競争防止法
 - 技術ノウハウの具体的管理方法
 - 秘密保持契約の必要性

3

海外特許入門 ～国際特許出願・米国・ヨーロッパ

10/24(水)

1. 国際特許出願(PCT)入門

特許協力条約に基づく国際出願とは
PCTルートとパリルート
PCTに係る関係官庁
PCT出願の特徴
PCT出願のケース事例

2. 米国特許入門

米国特許出願の流れ
米国特許出願に必要な書類
米国特許出願に関する処理
米国特許制度の特徴
(日本特許制度との相違点)
新規性拒絶(米国特許法第102条)
米国特許出願のコスト

3. ヨーロッパ特許入門

ヨーロッパ特許条約(EPC)
ヨーロッパ特許出願の流れ
ヨーロッパ特許出願に必要な書類
ヨーロッパ特許制度の特徴
(日本特許制度との相違点)
ヨーロッパ特許出願のコスト
ヨーロッパ、日本、米国の比較

4. その他の国の特許入門

中国
ドイツ
韓国
台湾
インド
ベトナム

4

商標入門 ～これだけは知っておきたい商標の取得・活用～

10/25(木)

1. 商標の基礎知識

商標とは
商品商標と役務商標
商標の種類
商標法で保護できない商標
商標が果たす役割
商標権の効力

2. 商標権を取得する方法

商標権取得の概要
出願から登録までの流れ
出願人の特定、商品および商品・役務の特定
他社商標の調査
拒絶理由通知に対する対応
商標登録にかかる費用
早期に商標登録するための方法(早期審査制度)

3. 商標の主な登録要件と取得テクニック(身近な事例の紹介)

普通名称・慣用商標、商品の産地・品質
ありふれた名称、その他の識別力がない商標
他社の登録商標に同一・類似の商標、品質誤認など

4. 商標権侵害とトラブル事例

商標権の侵害
商標権をめぐるトラブル事例
ネット社会における商標の注意点
商標権の攻めと守りの考え方

5. 他社の商標権をつぶす方法

登録異議申立、無効審判
不使用による取消審判

6. 商標権の利用方法

商標権の譲渡
商標権の使用許諾
商標権の担保

7. 海外での商標権取得

各国別のルート
国際登録出願(マドリッドプロトコ